

ご挨拶



平成三〇年度から始めて役員となった方を一言コメントと共にご紹介します。



総務副委員長 佐藤 武秀

「私は、平成六年からホームヘルパーとして働いてきた経験を活かして、介護職の魅力幅広い世代へ発信していきたいと考えています。力不足ではありますが、介護福祉士会を牽引してきてくださった先輩方を目標に努力してまいりますので、よろしく願います。」



啓発・相談副委員長 椎名 淳一

「介護福祉士の働く環境を少しでも良くできるように活動していきます！」



受験対策委員長 平賀 弘美

「わからないことばかりですが、一生懸命活動していきたいと思っておりますので、どうぞよろしく願います。」



キャリアアップ支援 副委員長 鈴木 亨

「介護という仕事盛り上がるよう頑張ります。よろしく願います。」



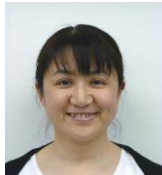
研修委員長 村越 恵子

「一年生になったと思いい、頑張ります。」



千葉ブロック長 高木 裕介

「介護福祉士として困っていること、悩んでいることを共有し、改善の方向へ向かっていけるような活動に取り組んでいきたいと考えています。」



君津・安房ブロック長 橋本 享子

「この度理事を務めさせて頂くことになりました。理事は初めてでわからないことが多いかと思いますが皆様のお力をお借りして頑張りたいと思います。よろしく願います。」



南部ブロック長 菜花 記子

「何もかもが初めての事で周りの方々にはご迷惑をおかけしています。一步一歩前進していきますので、今後ともよろしく願います。」

皆様、温かいご声援をお願いします！

第二五回 関東・甲信越ブロック研修会 in 東京

テーマ:

「イマとミライ」

トウキョウとセカイの介護

日時:平成三〇年一〇月一三日(土)

一〇時～一七時

会場:KFC Hair & Rooms

国際ファシジョンセンター 三階

(東京都墨田区横綱一・六・一)

定員:六〇〇名

参加費:会員 三〇〇〇円

一般 五〇〇〇円

学生 一〇〇〇円

※弁当を希望される方は

別途一五〇〇円必要です

締切:九月三〇日(日)

内容:行政説明

分科会

ランチオンセミナー

基調講演

詳しくはすでに送付している案内をご確認ください。

来年度は千葉県開催です！

東京会場へ是非足を運んでいただき、ブロック研修会の雰囲気体験、そして千葉県のPRをしましょう！

社会保障審議会



第一六〇回 社会保障審議会 (介護給付費分科会) 「介護保険サービスに関する 消費税の取扱い等について」

一・消費税の仕組みについて (抜粋)

◆非課税となる取引
消費税の性格から、課税対象に馴染まないものや社会政策的な配慮から課税することが適当ではない取引については、非課税取引とされている。

- ① 課税対象に馴染まないもの
 - ・土地の譲渡及び貸付け
 - ・有価証券・有価証券に類するもの及び支払手段の譲渡等
- ② 社会政策的な配慮から課税することが適当でないもの
 - ・公的な医療保険制度に係る療養、医療、施設療養又はこれらに類する資産の譲渡等
 - ・介護保険法の規定に基づく居宅介護・施設介護・地域密着型介護サービス費の支給に係る居宅・施設・地域密着型サービス等
 - ※福祉用具貸与・購入、住宅改修は課税対象

◆非課税取引である介護保険サービスについては、介護事業者は納税義務者とならない。このため、当該介護保険サービスについて、仕入れ分に係る仕入税額控除を行えないためその税負担は介護報酬で手当てされている。

二・平成二六年消費税率八%引き上げ時の対応を踏まえた今後の対応について (抜粋)

◆平成二七年九月、介護給付費分科会において介護保険サービスに関する消費税の取扱い等について議論を再開。事業所等の実態把握を行う上で、介護サービスの課税割合の把握、関係団体へのヒアリングの実施等を行うことを確認し、関係団体へのヒアリングを実施。
◆平成二八年六月、平成二九年度の消費税率一〇%の引上げが見送りととなったことを受け、介護給付費分科会における議論を中断。
◆今回、二〇一九年一〇月の消費税率一〇%への引上げを見据え、消費税引上げに係る対応について議論を再開。

三・消費税一〇%への引き上げに向けた当時の介護給付費分科会での主な検討状況

- ◆介護サービスの課税割合について
- ◆介護サービス施設・事業所における設備投資の状況等について
- ◆食費・居住費の平均的な費用額について

四・平成三二年一〇月に予定されている消費税率一〇%への引上げ時における対応に関する論点(案)

- ・消費税率八%への引上げ時における対応、平成二九年四月一日に予定されていた消費税率一〇%への引上げに向けた介護給付費分科会での議論、医療保険における議論の動向等を踏まえて検討する必要があるが、現時点において、どのような対応が考えられるか。
- ・特に、今後の検討に当たっては事業所等の実態の把握が必要になる。



五・介護サービスの課税割合

・消費税の一〇%引上げに伴い、介護サービス施設・事業所の仕入れ等に係る消費税負担が増加するが、これを適切に把握する前提として、消費税八%引上げ時における各介護サービスの課税割合のデータ算出方法についてどのように考えるか。
・具体的には、平成二九年四月一日に予定されていた消費税率一〇%への引上げに向けた介護給付費分科会における議論を踏まえ、介護サービスの課税割合については、平成二九年度介護事業経営実態調査の結果を用いて把握し、検討することとしてはどうか。

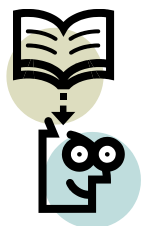
論点案

- ◆介護サービス施設・事業所における設備投資の状況
 - ・介護サービス施設・事業所の高額な投資は建物が大半を占めており、医療と比べて、総額、件数ともに小さい傾向にある
 - ・投資総額、収入に対する投資額比率ともに年度による変動が大きいと考えられること
 - ・平成二九年四月一日に予定されていた消費税率一〇%への引上げに向けた介護給付費分科会における議論や介護ロボット等の導入を財政的な支援の実施を含めて進めていることを踏まえ、この調査結果を基本とする
- ◆食費・居住費の平均的な費用額
 - ・基準費用額を定めるに当たっては、消費税率一〇%への引上げに伴う基準費用額の食費・居住費の平均的な費用額の把握についてどのように考えるか。
 - ◆具体的には、平成二九年四月一日に予定されていた消費税率一〇%への引上げに向けた介護給付費分科会における議論を踏まえ、食費・今日中日の平均的な費用額の把握については、平成二九年度事業経営実態調査において、食費については、調理員等に関する費用及び材料費等、居住費については、減価償却費や光熱水費等を把握した上で、消費税引上げに伴う基準費用額に係る対応について検討することなどが挙げられている。

(斉木)

トピックス

介護保険における
特定疾病②



介護保険における第2号被保険者は、一定の疾患のために介護を要する状態となった場合に、介護保険の給付を受けることができます。その対象となる疾患が特定疾病です。

今回は「骨粗鬆症」「変形性関節症」

「関節リウマチ」についてまとめました。

○骨粗鬆症

全身の骨量は、三〇歳代をピークに低下していく傾向にあります。骨がもろくなり、骨折を生じたり、その危険性が高くなったりした状態を骨粗鬆症といいます。女性は閉経以降、女性ホルモンの一つであるエストロゲンの分泌が低下することをきっかけに骨量が低下します。高齢者の女性に多くみられる疾患です。

(骨の痛み) 骨や関節の変形により、背中や腰、膝などに痛みが生じる場合があります。

(脆弱性骨折) 骨の強度が低下していることで、強い力が加わらなくても骨折しやすくなります。腰椎圧迫骨折、大腿骨骨折、大腿骨頸部骨折、橈骨遠位端骨折が多く見られます。

◇看護・介護のポイント

骨折を原因に寝たきりになってしまうことがあります。栄養と適度な運動、そして転倒への注意が必要です。

栄養状態確認・カルシウム、たんぱく質、そしてビタミンD、ビタミンKの摂取が重要です。ビタミンDは食事からだけではなく、日光浴により皮膚でも作られます。夏は木陰で三〇分、冬は一時間程度の適度な日光浴が効果的です。

定期的な運動・運動することで骨量の維持や増加に効果があります。筋力も付きます。無理のない程度に運動習慣をつけましょう。

転倒防止・転倒のリスクを考え、細かく注意する必要があります。生活環境の整理整頓、十分な部屋の明るさ、動線にある段差や障害物などを確認しましょう。

○変形性関節症

関節の働きを滑らかにする軟骨が減少して、痛みや腫れ、関節可動範囲の制限などが出現する疾患です。肘関節や股関節、特に膝関節症が多く見られます。

(関節の痛み) 安静時には痛みは少なく、体重がかかった際や運動時、特に動き始めに痛みが強くなります。関節炎を起こして腫れることもあります。正座や長距離の歩行などが困難になります。

◇看護・介護のポイント

負担軽減と筋力強化・激しい運動、長時間の歩行や立位、座位はなるべく避けます。クッション性のある靴を履き、底の固いものは避けましょう。大腿四頭筋太ももの筋力を強化することで、膝への負担を軽くすることができます。

体重管理・体重増加は股関節や膝関節に負担がかかります。適度な運動を心がけ、食生活にも気を配り、肥満にならないようにしましょう。

関節を冷やさない・サポーターなどを使って関節を温め、血行を良くします。入浴も効果的です。

○関節リウマチ

関節が慢性的に炎症を繰り返し、骨や軟骨が影響を受けていく進行性の疾患です。発症は三〇歳代から五〇歳代の女性に多く見られます。

(関節の痛み・腫れ・こわばり) 手足の関節、そして左右対称に痛みが生じやすいといった特徴があります。また、関節を動かさなくても痛みが生じます。特に朝、起床時に出やすいと言われています。症状は天候や疲労、ストレスによっても左右されます。

(関節の変形) 関節軟骨や骨の破壊が進行して、次第に変形が加わり、日常生活に不自由が生じます。

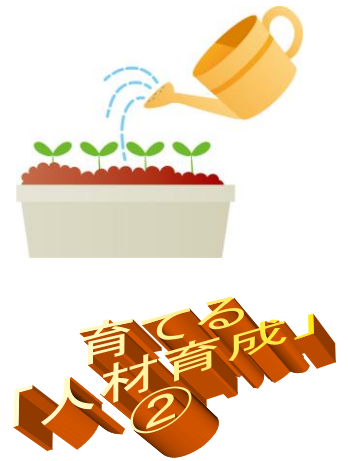
(全身の症状) 関節以外にも、微熱や疲労感、だるさ、食欲不振などの全身症状が起こることもあります。

◇看護・介護のポイント

生活動作を考えた工夫・必要に合わせて、自助具や福祉用具の活用、家具の配置などを検討し、関節や身体に負担をかけない工夫をします。保温と安静を心がけ、出来るだけ良い姿勢を保つようにします。

天候や体調への影響・その日の天候や体調、気分によって症状は変動します。介護者の理解も必要となります。

食事管理と適度な運動・体力を維持するためにも食事はしっかりと。たんぱく質やカルシウム、鉄分を多く取り入れ、骨粗鬆症や貧血を起こさないようにしましょう。適度に運動し、関節の機能や筋力を維持するよう心がけましょう。(石川)



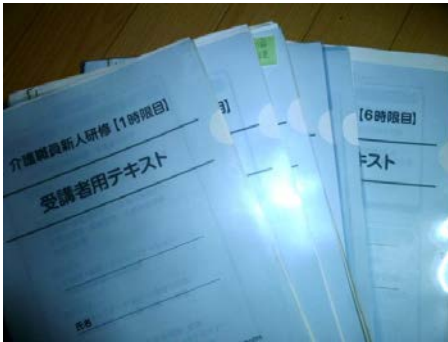
今回は実際の取り組みとOJTのPDCAサイクル、現在に至るまでを紹介します。

◎実際の取り組み

① 新人職員がOJT担当者と共に業務や知識を学ぶために、中堅職員にOJTの仕組みを理解してもらうことを目的に、各フロアのミーティングなどで伝達をしました。

特に強調した点は、「新人職員の指導はOJT担当者が行うため、中堅職員は直接指導せず、気になる内容を担当者に伝達すること」で、このルールを守ってもらうようにしました。

定着には少し時間がかかりましたが、このことにより職員によって違った教え方が減少し、新人職員の戸惑いや不信感が少なくなりました。



② 月に二、三回、OFF・JTとしてテキストを活用した座学研修を行っています。ここでは、初任者研修内容から介護の基礎知識を学び、同時に、実践業務と教科書上とのギャップについて、悩みや不安に感じている所までの学びを目的としています。

座学研修は好評で、「楽しい、もっと学びたい」などの声が聞かれています。

③ OJT担当者には実習指導者の研修を勧め、中堅職員には研修や資格取得を促し、知識を深められるようにしました。

◎OJTのPDCAサイクル

一年間で新人職員がOJTを卒業できるように目標を立て、OJT担当者を含めて毎月新人職員の評価面談を行っています。ここでは、月のプログラムに沿って成長できているか、評価表を用いて達成状況を確認し、再度次のプログラムに反映させています。

研修期間	研修内容	研修時間	研修場所	研修担当者
7/17(水)	自己紹介・研修の意義	15分	研修室	研修担当
7/18(木)	介護の基礎知識	15分	研修室	研修担当
7/19(金)	介護の基礎知識	15分	研修室	研修担当
7/20(土)	介護の基礎知識	15分	研修室	研修担当
7/21(日)	介護の基礎知識	15分	研修室	研修担当
7/22(月)	介護の基礎知識	15分	研修室	研修担当
7/23(火)	介護の基礎知識	15分	研修室	研修担当
7/24(水)	介護の基礎知識	15分	研修室	研修担当
7/25(木)	介護の基礎知識	15分	研修室	研修担当
7/26(金)	介護の基礎知識	15分	研修室	研修担当
7/27(土)	介護の基礎知識	15分	研修室	研修担当
7/28(日)	介護の基礎知識	15分	研修室	研修担当
7/29(月)	介護の基礎知識	15分	研修室	研修担当
7/30(火)	介護の基礎知識	15分	研修室	研修担当
7/31(水)	介護の基礎知識	15分	研修室	研修担当

また、面談の中で大切にしているのが、担当者と新人職員の心の状態や変化です。信頼関係が築けているか、悩みなどがないか確認しています。その他にも問題の発生があれば、即面談を行うことで、多少のトラブルがあっても辞めたいと訴える職員はいなくなりました。



今年度からは教育係を立ち上げました。係の職員と共に、人材育成に取り組んでいこうと考えています。(斉木)

◇キャリア段位制度を施設バージョンにしたような、きめ細かな計画・実施を紹介していただきました。これからの介護を支える(年数の)若い職員が、不安を抱え続けることなく、介護を「楽しい」と思えることが定着の秘訣となるでしょうか。

はれときどきにじ 介護福祉士の想い



介護福祉士の気持ち。
今回は、通所系サービスで働く二人に伺ってみました。

○勤続年数 三カ月目 二〇代 女性

私はデイサービスの施設で働き始めて三カ月になります。仕事を教えていただき、少しずつですが仕事を覚えてきました。

デイサービスの仕事の中には、レクリエーションでご利用者に楽しんでいただいたりハビリテーションも行ったたりするため、そういった環境で自分自身のスキルを高めていける素敵な所だと思います。

また、元気な高齢者の人と多くお話しする機会もあり、人生の大先輩のお話を伺える事はとても勉強になります。

今現在、私は子育てもしており、色々悩んだりすることがあります。そんな中で様々な経験を、長い人生で体験されてきたご利用者から様々なお話を伺える事は、仕事だけでなく、私の人生においてもプラスになっています。

○介護福祉士歴 一〇年目 四〇代 女性

私は現職場に就労する前は、知的障害者施設で働いていました。知人の紹介でこの職場に入りましたが、職員やご利用者の雰囲気がとても良く、楽しく仕事をさせていただいています。

この仕事に就き一〇年が経ちましたが、私は、この施設で一番の人気者になれるように日々努力しています。田舎の施設なので、近所の方々が多く、どなたかもすぐわかります。新しく入ってくるご利用者も「来て良かった」と喜んでお帰りになる方も多いです。

私たちはご利用者に喜んでもらえるように、時には方言を交えて会話をします。下手な敬語を使うと話が通じない時があり、「何を言ってるかわからない」といわれてしまうことがあります。地域には地域に合った話し方を大切に、そして、ご利用者一人一人の笑顔を大切に仕事をしていきたいと思っています。



※新人さんも歴戦の猛者(笑)も、「相手を大切に」する気持ちは一緒ですね。これからもよろしくお願ひします！

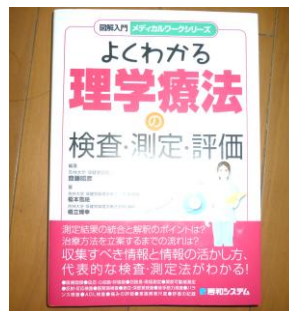
読んでみて！

癒い



「図解入門 メディカルワークシリーズ
よくわかる 理学療法の検査・測定・評価」

著者：榎本 雪絵・橋立 博幸
発行：株式会社 秀和システム



セラピストの記録で「FIM」や「BI」等の言葉をよく見かけませんか？

この本は、セラピストの検査や測定方法、それに基づいた評価について、わかりやすく書かれています。

私たち介護福祉士は、対象者により良い支援をするために、他職種の知識(視点)を取り入れなければなりません。

「なんとなく知っている」を、「ある程度は知っている」に進展させませんか？

コーヒーを飲みながら読んでみて！

研修報告

○平成三〇年度

サービス提供責任者研修会



この講習は、施設や在宅、どのような業務でも役立つものだと感じました。

専門職としての倫理を持った行動記録の仕方や支援方法、業務内容の調整、他職種との

連携、必要となる医療知識など、福祉全般に通用する内容を深く学ぶことができました。今回たくさんさんの気づきがあり、自分に足りていないこと、今後の業務への取り組みなどを考える良ききっかけになりました。

参加者には、サービス提供責任者をされている方のほか、施設や病院勤務、講師活動をされている方など、熱心な方々が揃っていました。そのような皆様とのグループワークや日頃の業務についてのお話も、とても刺激になりました。計六日間の研修は、とても有意義で楽しかったです。
(石川)

○北総ブロック研修会

「シーティングを学ぼう」

～座ることの大切さを再認識～

平成三〇年七月二十九日(日)、千葉県社会福祉センターにて第一回ブロック研修会を実施しました。

今回は当会の会員であり、作業療法士でもある野口晴康氏にシーティングについてお話をいただきました。

今回の研修会では、「座る」ということについて筋肉や骨格などの構造から詳しくご説明いただき、受講生からの「だからかく」という納得の声が多く聞かれました。講義だけでなく、車椅子に長時間座る体験や、二人一組になって身体のゆがみを確認する際の骨の位置を探ったり筋肉の緊張の度合いを感じたりと、普段体感することができない経験を沢山あり、とても有意義な研修会となりました。

併せて今後ますます多職種協働が重要視されていく中では、多職種の領域を積極的に取り入れ、介護に活かしていく研修会も重要と感じました。

今後も面白く実践的な研修会と、楽しい懇親会を企画して、皆様にもご参加いただきたいと思います。
(加藤)



○東葛ブロック研修会

「人生一〇〇年時代に向かう介護予防」

「運動機能向上の実技演習」

平成三〇年八月一二日(日)、千葉県社会福祉センター中研修室にて、第二回ブロック研修会を実施しました。

今回は、当会の飯島徳子会員に「人生一〇〇年時代に向かう介護予防」についてお話をいただきました。

研修会では、利用者の生活を支援する介護福祉士にとって、「廊下は不可逆的・普遍的な現象」という考え方から「適度な刺激があれば、それに反応する能力は存在する」という介護予防の重要性の認識について、詳しくご説明いただきました。また、午後は「運動機能向上の実技演習」に関して、ゲームを通してレクリエーションの話もあり、受講生から「座学だけでなく、汗をかき体感しながらの研修は新鮮であった」との話や、「意識して体を動かすことで、より効果のある体操の動きが分かり、早速仕事に取り入れてみる」等の話があり、大変有意義な研修会となりました。

介護予防という観点は、介護福祉士ばかりではなく、一般の方たちにも興味があり、今後の企画も増やしていきたいと思えました。
(南)



研修案内

○千葉ブロック研修会 「施設見学・交流会」

日時：一〇月二一日(日)
会場：介護老人保健施設うらら 五階研修室
千葉市中央区千葉寺町一八八
内容：施設見学
介護職員育成方法、ケア方法の紹介
交流会

参加費：会員・准会員 一〇〇〇円
一般 三〇〇〇円
定員：二〇名

○平成三〇年度介護福祉士受験対策・模擬試験 ①中央法規

日時：第一回 一〇月二〇日(土) 九時五〇分
第二回 一〇月二七日(土) 九時五〇分
会場：千葉県社会福祉センター
受講料：第一回・二回それぞれ四八六〇円
※セット(第一回・二回) 八六四〇円
締切：第一回 一〇月五日(金)
第二回 一〇月二日(金)
セット 一〇月五日(金)

②日本介護福祉士会 全国一斉模擬試験

日時：一二月一日(土) 九時五〇分
会場：千葉県社会福祉センター
受講料：四三〇〇円
締切：一〇月二六日(金)

※模擬試験終了後、国家試験のポイント解説等のミニ講座を開催します(自由参加)。

○第二回介護福祉士実習指導者講習会

日時：一日目 十一月一日(日) 九時二〇分
二日目 十一月二四日(土) 九時三〇分
三日目 十二月八日(土) 九時三〇分
四日目 十二月十五日(土) 九時三〇分
会場：千葉県社会福祉センター
受講料：会員 二〇〇〇円
非会員 三三〇〇円
定員：六〇名
締切：一〇月一五日(月)

※参加対象

介護福祉士資格取得後、三年以上介護に従事した経験のあるものであって、実習施設において、現在実習指導者である者、及び今後実習指導者になる予定の者。

※注意!

当研修の参加は、基本的に無遅刻・無欠席で、四日間全て出席できる方に限ります。また、終了証は四日間出席及び研修内容を十分に理解到達された方のみ発行いたします。

○南部ブロック研修会

介護の日キャンペーン
地域と専門職、みんなで介護
日時：十一月四日(日)
会場：茂原ショッピングプラザアスモ

○北総ブロック研修会

VR(バーチャルリアリティ)認知症疑似体験
「本当の意味での「相手の立場に立つ」のために」
日時：一二月八日(土) 一三時三〇分
会場：千葉県社会福祉センター
講師：株式会社 シルバーウッド
参加費：無料
定員：六〇名

日本の秋

夏の暑さがやわらぎ、過ごしやすい季節。日中は暑いですが、朝晩に肌寒さを感じたり、吹いてくる風にさわやかさを感じたりする。夏の蝉は次第になりひそめ、赤とんぼの群れや、虫の音が耳に残まるようになる。稲が黄金に色づき、栗、梨、葡萄などどりの果実が店頭を飾る。台風がしばしば日本を襲い、秋雨が長く続くこともあるが、晴れた空は高く澄み渡り、俗に「天高く馬肥ゆる秋」ともいわれる。夜が長くなり、月や星を眺めたり、読書や夜なべにいそしんだりする。朝寒夜寒が段々つつのつて、昼夜の温度差が大きくなり、野の草には露が置き、木々は紅葉してくる。色づいた葉が散り始めると、重ね着が増え、暖房が入り、秋も終りに近づく。(ウイキペディアより)



秋



寒い冬は辛いけど、暑さよ！早く通り過ぎて！

一般社団法人
千葉県介護福祉士会

〒260-0026
千葉市中央区千葉港 4-3
千葉県社会福祉センター
3階

TEL:
043-248-1451

FAX:
043-248-1515

E-MAIL:
Kai5niji@poem.ocn.ne.jp

編集：広報委員会・広報委員長

知りたい情報等がありましたら、上記メールアドレスにお知らせください！

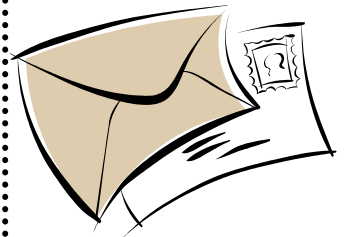
編集後記？
鈴(りん)
の
つぶやき



東葛ブロック	一六三名
千葉ブロック	一六三名
君津・安房ブロック	七六名
東部ブロック	八六名
南部ブロック	五〇名
北総ブロック	一八六名

会員数(七二四名)

九月一日 現在



事務局だより

全国大会等

○千葉県介護福祉士会は、年会費を口座振替と
しています。口座振替がまだの方は、口座登録を
お願いいたします。
口座登録の用紙は、事務局までご請求下さい。
○事務所の電話受付は月々金(九時～一六時)と
なっておりますので、受付時間外及び土・日・
祝日に開催される研修会等のお問い合わせに
ついては、留守電にて対応しております。
どうぞよろしくお願いいたします。

※平成三十一年十月二六日(土)に、関東・甲信越ブロック
研修会が千葉県で開催されます。

この研修会を盛り上げるためには、来月開催する東京で
の研修会に参加して、千葉の研修会のPRをしましょう。
既に案内は発送してありますが、東京での研修会の締切
は九月三〇日です。
是非、皆さんで行きましょう！

「防災の日」

9月3日から学校が始まり、初日は「引き渡し訓練」でした。
月初はどうしても仕事が休めず、実家の母が息子の引き取りです。
でも、平日は基本的に仕事。引き取り優先順位は実家の母→父→弟。
旦那さんは障害があるし、自分は離れた職場にいるし・・・。
ここのところ、異常気象や地震が頻発しています。災害時はどう動け
ばいいのか、改めて実家を含めた家族で話し合わなければ。(岩)